

共産党議員団、万博会場を視察 危険な万博は今すぐ中止を



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

5月17日、日本共産党滋賀県地方議員団は万博会場の視察と学習会を「さきしまコスマタワー」内で行いました。たつみコスマタワー近畿比例候補と大阪カジノ反対連絡会事務局次長の中山さんが講師と案内していただきました。米原市議員団から山脇と藤田が参加しました。今、滋賀県でも学校行事で万博に参加させようとしています。現地では、メタンガスによる爆発事故も起っており危険な万博への子どもたちの参加に反対の声は大きくなっています。

滋賀県の対応は

18万人の子どもを無料招待

滋賀県のホームページには次のように書かれています。

2025年に開催される

大阪・関西万博に滋賀の子どもたちを招待する取組に活用します。

大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして、2025年4月13日から10月13日の約半年間の会期で開催されます。

(中略)

滋賀の将来を担う子どもたちが、大阪・関西万博に直接接して、世界の様々な文化や知見、技術に触れることは、自身の興味や得意分野、将来進みたい方向性を認識し、社会の課題にチャレンジする姿勢を育むきっかけとなると考えています。そのため、滋賀の子どもたちを大阪・関西万博に招待することとし、入場料が必要な満4歳から高校生までを対象に、**教育旅行も**

しくは個人や家庭でより多くの子どもたちに行っているだけの仕組みを作ります。具体的には、県が、滋賀の子ども1人につき1回分の入場料を負担することとし、御協力いただいた寄附金は、その入場料の支援に活用させていただきます。

対象になる滋賀の子どもたちは約18万人です。無料と言っても、その費用の多くは税金です。

大阪では混乱も

受入る時期も、下見もできず

大阪・関西万博に子どもを無料招待する大阪府の事業を巡り、学校現場に混乱が広がっています。府内の小中学生は個人でなく学校行事での来場が前提となっており、行事の計画に必要な受け入れ態勢が不明瞭なまま、5月末までに参加意向の回答を求められるためです。見学できるパビリオンや会場の下見期間に関する情報がない上、安全面での懸念も広がっています。

大阪府教育委員会は3月に各学校向けの説明会を開

会場ではガス爆発も

万博会場となる夢洲は埋め立て地で、現場となった会場西側区には一般廃棄物などが埋められており、今もメタンガスが発生しています。万博協会によると、爆発は3月28日午前11時頃、同工区内の屋外イベント広場近くのトイレで発生しました。溶接作業で出た火花がメタンガスに引火したとみられ、コンクリートの床など約100平方メートルが破損したが、けが人はいなかったとしています。

通報は4時間半後

施工業者から大阪市消防局に連絡があったのは、発生から4時間半後です。消防法は「火災を発見した者は遅滞なく通報しなければならぬ」と定めており、市消防局は工事関係者に対し、今後は速やかに通報するよう指導するとしています。危機管理体制も不十分で、且つ危険な万博に子どもたちを連れていくことに大きな批判がでています。



学習会の模様

